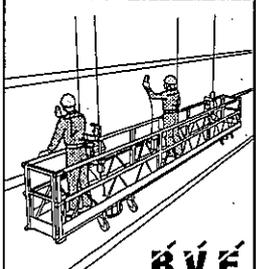


建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
振替貯金口座00190-2-97953
©日刊建設通信新聞社 2005

外壁作業には ビソーゴンドラ



日本ビソー株式会社
www.bisoh.co.jp

DAKARA 元 気

注目企業

会社概要

▽住所 佐賀県唐津市北波多字徳須恵
▽従業員 101人
▽支店(営業所) 関東(東京)、佐賀、福岡、長崎、武雄、広島、名古屋

▽沿革 1953年にさく井業者として創業、62年に法人化。地質調査やボーリングを伴う地すべり対策工事、斜面安定化工事、グラウト工事、

法面保護工事に進出するほか、測量業、建設コンサルタント、補償コンサルタント、一級建築士事務所など業容を拡充している

日本建設技術(株)

再生利用が難しい容器包装の有色廃ガラスびんは年間約150万トが排出されている



社長 原裕氏

有色廃ガラスびん再資源化

が、それらを基材に再資源化した発泡廃ガラス材(多孔質接触材)の「ミラクルソル」を開発、水質浄化や各種緑化工事など潤いのある環境創出に効果を発揮している。用途拡充に伴いニーズも広がりを見せ、実績も着実に増加、認知度も開発地の九州中心から全国区へ。組織する工法協会も会員増強に乗り出した。

開発着手は、金属表面処理剤メーカーの太陽化学から「思いもかけなかったガラス廃材を再資源化する話が進んだ」と、ポラスコンクリーのが端緒。1995年のこと、その研究開発プロジェクトなど多岐にわたるプロジェクトを主導し、約2年後に比重0.4の新素材「ミラクルソル」の開発に成功した。工法特許は4件登録され、出願

潤いある環境創出に効果

「ミラクルソル」は、スポンジのように多数の内部空間を有し、軽量で強度な特性をもつ。比重0.4、用途に応じたものづくりを可能にする。公認を含めて18件が特許審査中という。21世紀は環境の時代と言われますが、ミラクルソルは文字どおり、その高い浄化能力(吸着能、付着生物量)が期待できる。事実、「炭より大きな効果を確認している」

や透・保水性インターロッキングの略床として布設すれば、保水による温度抑制効果を発揮する。また、高い保水性は法面緑化に大きな効果を発揮するし、軽量である点は屋上緑化にも最適だ。99年にはミラクルソル工法の普及や技術研究の促進などを目的に協会を設立し、原社長が理事長に就任。以来「毎年切れ目なく新材料(技術)や工法を提案してきている」のを始め、普及のための技術講習会も活発に開催、「ことは新編で開く予定」としている。現在、正会員22社、賛助会員5社が加盟しているが、「国や地方自治体の採用実績も増えており、会員拡大にも拍車をかける」意向だ。